



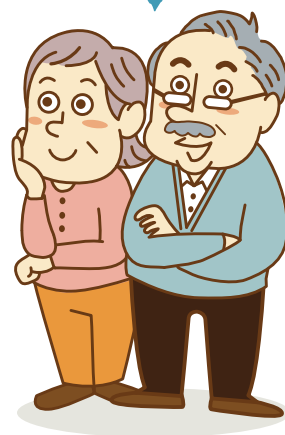
# ライフステージの変化と共に生まれる お悩みを解決 「間取り変更」Before→After

## お悩み

子どもが独立し、余っている  
スペースを有効活用したい

# 60代

Bさん夫婦の場合



匠's  
POINT!



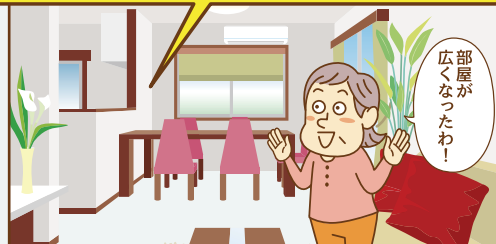
間取り変更で、より広いスペースをつくれば  
収納を充実させたり、  
快適なリビングへと変更可能！  
プライベートスペースを設け、  
ゆとりある暮らしにまた一歩近づきますね！

解決例  
01

## 余った部屋を取り込み一体化した広いLDKに

子どもが独立して余った部屋はLDKに取り込んだり  
大型の収納として有効活用もできる。  
バルコニーに面した和室をリビングに取り込み  
キッチンも対面式に変えることで、これまで以上に  
明るくてオープンなリビングダイニングへ。

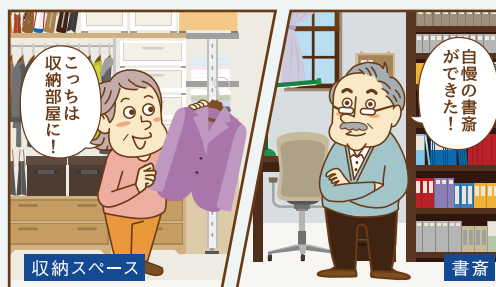
キッチンを対面式にしてリビングダイニングに



解決例  
02

## お互いの時間を好きに使う「プライベートスペース」

不要になった子ども部屋を造作工事で  
ウォークインクローゼットや書斎に改造して  
お互いのプライベートな空間に変身！

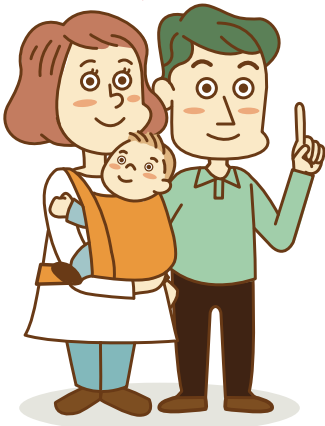


間取り変更  
リフォーム  
の場合

# 暮らしのお悩み解決 「間取り変更」

30代

Aさん夫婦の場合



お悩み

安心してのびのび子育てを  
楽しめる生活空間にしたい!

匠's  
POINT!



子どもの成長に合わせて暮らし方  
を変えるのがポイント。

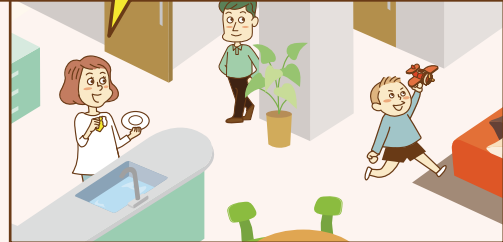
小さいうちは、目が届きやすい隣接タイプ、  
間取りの工夫で広さを確保できます。

解決例  
01

家事をしながら子どもの世話を出来る  
ユーティリティスペース(多目的空間)を確保

中古住宅には和室や廊下が多く小さな子どもが  
リビングで遊んでいても目が届かないため、  
家事をしながらキッチン・洗面台・脱衣所とリビングを  
自由に行き来しやすいように和室や廊下をなくし、  
ユーティリティスペースを確保。

家事をしながら、子どもたちの様子が確認できます



解決例  
02

L(リビング)とDK(ダイニングキッチン)・隣接する和室を  
一体型の開放感のあるLDKに間取り変更

LとDK(隣接する和室)を一体型の開放感のある  
LDKに間取り変更。畳スペースなどの小上がりも  
作って子育て空間に。さらに、引き戸で仕切るよう  
にすれば子どもの成長に合わせて個室としても利用  
できる。

引き戸で仕切る

